

# けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 2次元通信セミナー 開催結果

○開催日時：2010年5月10日(月) 14:00~17:00  
於：(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) G階・01会議室

- 講師：
- 「フレキシブル二次元導波路によるスマートスーツ」  
横浜国立大学大学院工学研究院 教授 新井 宏之 氏
  - 「人体近傍電界通信技術の開発とアプリケーションの開拓」  
NTTマイクロシステムインテグレーション研究所 門 勇一 氏
  - 「マイクロ波無線電力伝送の現状と課題－他方式との比較－」  
京大大学生存圏研究所 教授 篠原 真毅 氏
  - 「二次元通信技術の現状と課題」  
東京大学情報理工学系研究科 准教授 篠田 裕之 氏
  - 「協議会における二次元通信WGの活動と今後の予定」  
情報通信研究機構新世代ワイヤレス研究センター 張 兵 氏

○出席者数：56名

○アンケート回収数：26名

## ○概要

2次元通信とは、テーブルや壁などに機器を接触させるだけで高速通信や電源供給を可能にする技術で、今後大きく発展することが見込まれている。また、2次元通信技術の関連技術として近傍界での信号伝送とワイヤレス電力伝送技術の研究開発も注目されており、そのキラー・アプリケーションの開拓もたいへん期待されている。

本セミナーでは、まず新井先生はフレキシブル二次元導波路によるスマートスーツの開発について紹介された。次に、門部長は人体近傍電界通信の技術開発の背景と原理を述べられたとともに、安定な人体通信を確保するために効率的な電界誘起技術と環境雑音除去技術について解説された。また、篠原先生はマイクロ波無線電力伝送について総括され、各方式の特徴をまとめることにより他方式との比較が行われた。さらに、篠田先生は二次元通信の最新成果を交えて、その原理説明から多様なアプリケーションの可能性について紹介された。最後に、張主任研は協議会における二次元通信WGの活動紹介と今後の予定について紹介された。

参加者アンケートでは「ためになった」との感想が96%あり、「情報通信IT分野の最先端技術の現状と課題をまとめた今回のようなセミナーは是非聞きたい」、「非常に中身のあるセミナーだった」など好評を得た。

